

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	11	課題区分	C	令和7年3月31日
横断的な課題	地域ブランドを活かしたゆたかな暮らしと移住への取組					
地域重点政策	地域ブランドを活かしたゆたかな暮らしと移住への取組					松本地域振興局
実施機関	松本農業農村支援センター			担当課	所属	技術経営普及課
事業名	気象災害軽減技術に係る展示ほの設置事業				電話	40-1947
					E-mail	matsumoto-nogyo@pref.nagano.lg.jp
事業概要等	目的 (目指す姿)	昨年度被害が大きかった果樹における凍霜害について、生産者が実施可能な対策試験を実施し、効果を確認するとともに生産者所得や管内の果樹生産量を確保する。				
	現状と課題	松本地域振興局管内では令和3年度及び令和5年度に10億円を超える凍霜害被害が発生し、果樹の安定生産において対策が急務となっている。 従来の燃焼法ではほ場で直接資材を燃焼させる方法が普及に移っているが、夜半にほ場で直接火を扱うこと、設置火点数が40～50カ所／10aと多いといった性質上、実行可能な面積に限られるなど課題も多い。そこで、近年新たに検討がされているオイルヒーターを用いた凍霜害対策について、その有効性を検討する。				
	内容 (変更後の内容)	オイルヒーターの活用によるほ場の温度上昇効果の検討 管内の防霜ファン設置のりんごほ場において、生産者が実施するオイルヒーターによる凍霜害対策に合わせて、ほ場に記録式温度計を設置し、ほ場におけるオイルヒーター併用による温度上昇効果を確認する。				
	事業期間	令和6年4月 ～ 令和6年12月				
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考		
	凍霜害対策に合わせたほ場温度測定事業	オイルヒーターの稼働時に記録式温度計を設置し、ほ場温度の上昇効果を確認する。	117,700	記録式温度計購入費用 10700円×10台 消費税10700		
		ほ場使用料(生産者謝礼)	15,000	生産者1名×15,000円		
	実際の結実量確認	オイルヒーターの活用により、実際にりんご果実の結実状況に差が出たか園主に聞き取りを行った。	0	現地調査		
	合 計		132,700			
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況	
	オイルヒーターの温度上昇効果確認		1ほ場	1ほ場	● 達成 ○ 一部達成 ○ 未達成	
	試験成績の公表による凍霜害被害防止啓発の実施		4回	5回		
事業実績・成果	防霜ファン設置圃場での温度上昇効果の確認を行った本試験では、防霜ファン直下に設置したオイルヒーターの熱が防霜ファンの風で広がり、計測を行った16m地点まで温度上昇がみられた。 従来から行われている防霜ファン単体での凍霜害対策より、防霜ファンとオイルヒーターの併用により、更に効果が期待できることが分かった。 また、灯油20ℓ(タンク容量は40ℓ)で6時間の燃焼が可能であり、深夜に灯油の継ぎ足し等の作業が無く、労力の軽減が図られることが分かった。 この結果は指導者向けとしては中信果樹技術員会、またJAあづみりんご部会、各支部の生産販売実績検討会で広く生産者に周知を行うことが出来た。					
	今後の方向性	防霜ファン無設置圃場でオイルヒーターの効果について検証を行う。				